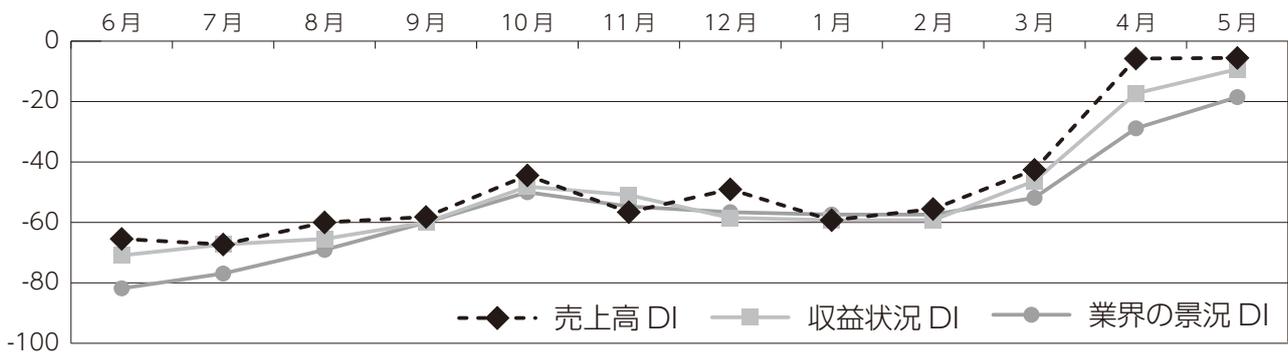


## コロナ直撃の昨年からは回復するも 流行前の水準に戻らず厳しい状況が続く

### 概況

昨年5月は初めての緊急事態宣言下で、外出自粛や休業・休校等の影響で需要が激減したため、昨年比では回復が見られる。しかし、流行前の水準には程遠く、まん延防止等重点措置の適用やウッドショック、半導体不足による自動車減産等の不安材料が山積し、依然として厳しい状況が続く。

### 主要DIの推移（全体）



### 景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
製造業	食料品	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	繊維製品	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	窯業・土石	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	その他	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売業	☁	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁
	小売業	☁	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁
	サービス業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁
	建設業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁
	運輸業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁

減少悪化 ← ☁ ☁ ☁ ☁ ☁ → 増加好転

天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。  
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数 × 100

## コメント掲示板

### 《製造業》

<b>食 料 品</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月16日から、まん延防止等重点措置が適用となり客足が止まった。観光地も大型連休明けから客が来なくなり、売上が減少している。(菓子製造業)</li> <li>乾麺、生麺とも小売向けの動きは良いものの、業務向けは依然として厳しい。(めん類製造業)</li> <li>普通酒以外が好調で昨年比で売上は増加するも、一昨年比では約3割減少している。(酒類製造業)</li> </ul>
<b>織 維 製 品</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント中止や百貨店休業などの影響で受注量は減少したままで、景況は依然として厳しい。(刺繍業)</li> <li>アパレル小売店の廃業や倒産の影響が現れつつある。既存の仕事が無くなり、雇用調整助成金を申請する組合員も出ており、新規取組が急務。(外衣・シャツ製造業)</li> <li>今年に入りさらに受注量が減少している。住宅工事の落ち込みが続くことを不安視している。(インテリア関連製造業)</li> </ul>
<b>窯業・土石</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウッドショックの影響で住宅の着工が遅れているとの情報が入っている。当業界では直接的な影響は出ていないものの、今後の動向を懸念している。(コンクリート製品製造業)</li> <li>民需、官需ともに低調で推移。西毛地域では一昨年前の東日本台風(台風19号)の復旧工事が続いており安定した需要があるが、東毛地域では低調傾向が続く。(生コンクリート製造業)</li> </ul>
<b>機 械 ・ 金 属</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年はSUBARUが操業停止期間であり受注量が激減していたため、昨年比で受注量が増加した。しかし、半導体不足によって自動車の減産がなされており不安は残る。半導体製造装置、工作機械部品等は好調に推移している。(めっき業)</li> <li>コロナの影響が甚大であった昨年と比較すると回復基調にあるが、一部企業では厳しい状況が続く。新分野展開を行う企業もみられる。海外支店や工場を有する企業は行動が制限されることを懸念している。(はん用機械器具製造業)</li> <li>半導体露光装置関連が好調で年内は好調が続く見通し。(半導体関連製造業)</li> <li>多くの自動車メーカーで生産停止となり、受注が落ち込んだ。生産停止は来月も続く見込みで先行き不透明感が増す。(自動車・同附属品製造業)</li> </ul>
<b>そ の 他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>輸入木材の供給不足によって、国産木材の需要が高まり販売価格が高騰している。(一般製材業)</li> <li>自動車関連は半導体不足の影響で減産となっており低調が続く。(ゴム製品製造業)</li> </ul>

### 《非製造業》

<b>卸 売 業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人住宅用材木の入手が困難で厳しい状況。スーパー向けの冷蔵庫ガラスの需要は高まるも、コンビニは不調。(建築材料卸売業)</li> <li>鉄屑は、海外が下落基調のため相場は下がり気味であるが、発生不足による品薄状態が国内相場を牽引する状況。古紙は、流通量は依然として低調で推移している。需要が旺盛なインドではコロナの影響で消費が停滞しており、価格が下がっている。(再生資源卸売業)</li> </ul>
<b>小 売 業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エアコンが好調に推移している。また、企業の照明器具設置工事の増加が窺える。(家電小売業)</li> <li>需要は回復しているが、原油価格は引き続き上昇傾向のため、粗利幅が減少し収益状況は悪化している。(燃料小売業)</li> <li>5月の1ヶ月間を「母の月」としてPRし、密を避けながら業界で取り組んだ。インターネット販売が大きく伸び、個店も良好。しかし、まん延防止等重点措置の適用地域ではイベント中止等の影響を受け、突然のキャンセルが多発した。(花・植木小売業)</li> </ul>
<b>商 店 街</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まん延防止等重点措置の適用によって、人通りが少なく閑散としている。特に酒類提供自粛の要請の影響は大きく、飲食店及び関連業種は厳しい。(前橋市)</li> <li>まん延防止等重点措置の影響で人通りは更に落ち込む。イベントや売り出しを中止した店舗、休業、時短営業する飲食店も出ており、厳しい状況が続く。(沼田市)</li> </ul>
<b>サ ー ビ ス 業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛郷ぐんまプロジェクトの中止により、県内客の大型連休のキャンセルが多発したものの、県外客からの予約がわずかに入った。(四万温泉旅館)</li> <li>昨年は緊急事態宣言下で休館していた旅館が多かったため売上は増加するも、コロナ流行前の一昨年と比較すると半分以下の入込みという状況。(草津温泉旅館)</li> <li>東毛方面の不動産取引の動きにやや回復傾向がみられる。(不動産取引業)</li> <li>ウッドショックの発生で木造建築物を設計する建築士は木材価格の動向を注視している。(建築設計業)</li> </ul>
<b>建 設 業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型物件やテナント工事の需要は減少、一般住宅の塗り替え需要は若干ではあるが回復している。しかし、十分な受注量ではなく、工事価格を見直さなければ経営難に陥る可能性がある。(塗装工事業)</li> <li>公共工事の減少、民間需要の停滞傾向が続いている。(建設業)</li> <li>手持ち工事量が二極化する中、鋼材、溶材価格の上昇により収益が圧迫されつつある(鉄骨工事業)</li> </ul>
<b>運 輸 業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料価格が上がり、収益の圧迫を懸念している。家電用プラスチック原料、輸送関連商品の荷動きに回復が見られるも、飲料水は低調で推移している。また、運賃相場も下落傾向にある。(一般貨物自動車運送業)</li> <li>数ヶ月ぶりに売上増加がみられるも配送量に変化はみられない(貨物軽自動車運送業)</li> </ul>

※本調査は、情報連絡員55人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。